

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

(仮称)アルファステイツ吉市駅南

配慮項目	評価点	重み係数	内訳							
■1.「地球温暖化対策」の推進										
1.1 建物の熱負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 住宅性能省エネ等級3相当とした。自主基準で天井に熱橋補強を実施。										
1.0	0.08	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能					
3.0	0.43									
3.0	0.49	LR1 エネルギー	1 建物の熱負荷抑制							
小計		2.8	0.36							
1.2 自然エネルギーの利用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 外皮に2方向面して、有効な採光・通風を確保。										
3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用	2.2 自然エネルギーの変換利用					
3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用						
小計		3.0	0.09							
1.3 設備システムの高効率化										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 共用部の照明点灯方式にタイマー制御・センサー点灯を採用。給湯器に電気温水器を採用。										
3.1	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化							
小計		3.1	0.18							
1.4 設備システムの効率的運用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください										
0.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング						
0.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制						
小計		0.0	0.00							
1.5 資源・マテリアル対策										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 極力節水用の給水栓を採用。杭コンクリートにリサイクル材(高炉セメント)を採用。内装材にリサイクル材(磁器質タイル・集成材・パーティクルボード)を採用。										
4.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水						
3.0	0.12	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無					
3.0	0.00	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利システム導入の有無					
2.0	0.06	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減						
3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用						
4.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 軸体材料におけるリサイクル材の使用						
5.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用						
2.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材						
3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						
小計		3.5	0.26							
1.6 ライフサイクルCO2排出率										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 極力CO2の排出を削減した。										
4.3	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮							
小計		4.3	0.11							
1.「地球温暖化対策」の推進の評価										
3.2		0.72								
■2.「ヒートアイランド対策」の推進										
2.1 溫熱環境の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 オール電化により燃焼機器を無くし、大気汚染物質を排出させない。極力敷地内緑化に努めた。										
1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出							
3.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上						
2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善						
小計		1.8	0.96							
2.2 交通負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 離合が可能な車路幅を確保した。駐輪駐車スペースを確保するよう努めた。										
4.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制					
小計		4.0	0.04							
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価		1.9	0.15							
■3.「長寿命化対策」の推進										
3.1 耐用性の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。										
3.0	0.47	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性					
3.0	0.12	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 免進・制振性能					
4.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 軸体材料の耐用年数					
3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					
4.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					
3.0	0.03	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔					
3.0	0.06	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔					
3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔					
小計		3.1	0.47							
3.2 設備の更新性										
(コメント) ※設計の計画上段に配慮した事項を記載してください。										
3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性					
3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性					
3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性					
5.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性					
3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性					
3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース					
小計		3.2	0.53							
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)		3.2	0.13							
■重点項目の総平均(上記3項目)										
		3.0								